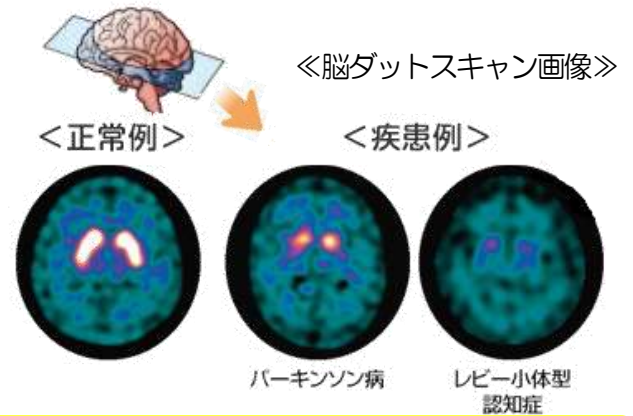


はじめました！！**脳ダットスキャン** **BONE NAVI**

今月は放射線科が新たに導入した2つの核医学検査
脳ダットスキャンとBONE NAVI (ボーンナビ) についてご紹介します。

①脳ダットスキャンってなに？

パーキンソン症候群やレビー小体型認知症といった脳疾患の診断に用いられる検査です。脳に集まる性質のある放射性医薬品を注射し、それから出る放射線を専用の装置で撮影します。パーキンソン症候群やレビー小体型認知症の脳は正常な脳より薬の取り込みが低くなります。



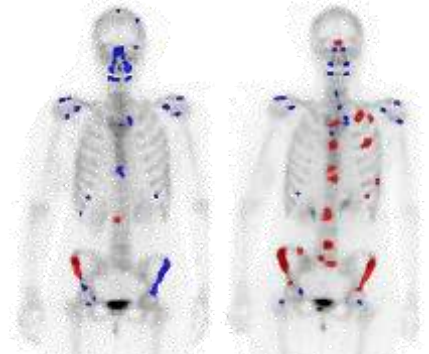
従来の検査では脳内の画像を見てもパーキンソン症候群やレビー小体型認知症を診断することは困難でした。この検査の導入によって、これらの疾患の**早期診断・早期治療**が可能となります！

②BONE NAVI ってなに？

骨の炎症、がんの骨転移などを診断する核医学検査に骨シンチグラフィがあります。この検査に使用される放射性医薬品は正常な骨にはほとんど取り込まれませんが、骨の炎症、がんの骨転移などには多く取り込まれ画像化されます。当院では年間約700名の患者さんがこの検査を受けられています。

骨シンチグラフィで得られた画像をBONE NAVIソフトを使用して解析すると、**転移の可能性をわかりやすく色で表示し、転移の確率を数値化**できます。

放射性医薬品が取り込まれた部分は
転移の可能性が
高いと赤く、低いと青く
表示されます。



「BONE NAVIソフトによる骨シンチグラフィ画像」

今月の医療 ~下肢閉塞動脈硬化症~

循環器内科

みなさん、最近歩くとすぐ足が痛くなったり疲れやすくなったりしませんか。歳のとせいと割り切って考えてしまう方も多いのですが、中には治る病気であることもあります。

下肢閉塞性動脈硬化症（かしへいそくせいどうみやくこうかしょう）

長い名前ですが、足の血管の動脈硬化がすすんで細く詰まってくると、足への血流量が低下して、足を使ったとき（長い時間あるいたり 上り坂を登ったり）に足が痛くなったり疲れやすくなったりします。



現在では血管内にカテーテルという管をいれて、風船で拡張することで、血流を改善し治すことが可能になりました（3日間の入院で可能です）。

当院でも治療を行うことは可能ですので、まずかかりつけのお医者さんにご相談ください。

治療後は登山やランニングができるようになった方も多くいらっしゃいます。

足の血圧を測定することによって、外来で簡単に評価ができますので、もしそうした症状がございましたら、一度内科の先生の受診をされてみることをおすすめします。



もちろん当院循環器内科でも簡単に評価できますので、ご希望の方は一度主治医の先生にご相談ください。

循環器内科 医長 鈴木 建則

☆当院は紹介制の医療機関のため、まずかかりつけ医にご相談いただくようお願いいたします。